

耐熱性原核生物由来グアニル酸キナーゼ (80°C)

Cat. No. CEGZ-6401

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 広範なヌクレオチド受容性を有し、80°Cまでの熱安定性を示す組換え原核生物由来グアニル酸キナーゼ。

用途 研究用途ならびに標準条件または高温条件下におけるGMPおよび関連プリンーリン酸のin vitroリン酸化用。

別名 GMPK; デオキシンググアニル酸キナーゼ; グアノシンーリン酸キナーゼ; 5'-GMPキナーゼ; ATP: GMPホスホトランスフェラーゼ; ATP: (d) GMPホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種 細菌性

由来 組換え大腸菌

形態 液体

EC番号 EC 2.7.4.8

CAS登録番号 9026-59-9

分子量 25.4 kDa

熱安定性 80°Cまでの耐熱安定性を有する

特異性 GMPおよびdGMP、ならびにAMP、さらに限定的ではあるがdAMP。ATPおよびdATPはドナーとして機能し得る。

基質 ATPまたはdATP; GMP; dGMP; AMP; dAMP

反応 $ATP + GMP = ADP + GDP$

備考 大腸菌 (E. coli) で発現させた組換えタンパク質を、熱処理およびHis6タグアフィニティークロマトグラフィーにより精製した。最適な反応時間および酵素濃度は、基質により変動する場合があります。

プロトコル 70 mM Tris-HCl、pH 7.6 (50°Cにて) 10 mM MgCl₂ 5 mM GMP 6 mM ATP 酵素 0.04 g/L 50°C、一晩 (オーバーナイト)

使い方 研究用およびin vitro (体外) 使用に限りします。

保管・発送情報

保存方法 -20°C